

授業科目名	保育内容健康 I	担当教員名	三上 聡子
必修/選択	必修(幼稚園教諭2種免許/保育士資格/ジュニアスポーツ指導員資格)	開講学年・学期	2年 前期(年間開講数 2講座)
科目区分	教職・保育に関する科目	単位数	2単位(30時間)
施行規則に定める科目区分等	領域及び保育内容の指導法に関する科目-保育内容の指導法(情報機器及び教材の活用を含む) 保育の内容・方法の理解に関する科目(別表1)	授業方法/担当形態	講義 / 単独
		特記事項	※実務経験のある教員等による授業 幼稚園副園長、幼稚園教諭として長年にわたる実務経験を活かして、幼児教育の現場での実例を多く取り上げて授業を行っている。 ※「保育内容演習/発育発達論/スポーツ栄養学/体育心理学」の指導内容を含む
授業の到達目標	<p>幼児の心とからだの健康を培っていくために必要な知識と援助のしかたを習得する。(子どもの「生きる力」を育てるために必要な指導や援助のあり方、子どもが健やかに成長していくために必要な生活習慣・安全習慣の確立と指導援助のあり方を身に付ける。)</p> <p>1-保育内容の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)</p> <p>(1)各領域のねらい及び内容:幼稚園教育要領に示された幼稚園教育の基本を踏まえ、各領域のねらい及び内容を理解する。 ①幼稚園教育要領における幼稚園教育の基本、各領域のねらい及び内容並びに全体構造を理解している。 ②当該領域のねらい及び内容を踏まえ、幼児が経験し身に付けていく内容と指導上の留意点を理解している。 ③幼稚園教育における評価の考え方を理解している。 ④領域ごとに幼児が経験し身に付けていく内容の関連性や小学校の教科等とのつながりを理解している。</p> <p>(2)保育内容の指導方法と保育の構想:幼児の発達や学びの過程を理解し、具体的な指導場面を想定して保育を構想する方法を身に付ける。 ①幼児の認識・思考、動き等を視野に入れた保育の構想の重要性を理解している。 ②各領域の特性や幼児の体験との関連を考慮した情報機器及び教材の活用法を理解し、保育の構想に活用することができる。 ③指導案の構成を理解し、具体的な保育を想定した指導案を作成することができる。 ④模擬保育とその振り返りを通して、保育を改善する視点を身に付けている。 ⑤各領域の特性に応じた保育実践の動向を知り、保育構想の向上に取り組むことができる。</p> <p>2-保育内容演習</p> <p>(1)養護及び教育に関わる保育の内容が、それぞれに関連性を持つことを理解し、総合的に保育を展開していくための知識・技術・判断力を習得する。 (2)子どもの発達を、保育所保育指針における乳児保育の3つの視点(「健やかに伸び伸びと育つ」「身近な人と気持ちを通じ合う」「身近なものに関わり感性が育つ」と、1歳以上3歳未満児及び3歳以上児の保育のそれぞれ5つの領域(「健康・人間関係・環境・言葉・表現」)を通して捉え、子どもに対する理解を深めながら、保育の内容について具体的に理解する。 (3)上記2に示した保育の内容の視点及び領域を踏まえて、子どもが生活や遊びにおいて体験していることを捉えたとともに、保育に当たって保育士が留意、配慮すべき事項を理解する。 (4)子どもの発達過程に即して具体的な保育場面を想定しながら、環境の構成、教材や遊具等の活用と工夫、保育の過程(計画・実践・記録・省察・評価・改善)の実際について理解する。</p>		
授業の概要	乳幼児の発育発達、基本的な生活習慣、安全、健康管理について学び、保育者として乳幼児期に適切な関わり・援助・指導を行うことができる力を養う。 園での実際(子どもの様子と保育者の関わり、保護者対応、小学校への接続、地域との交流、園行事等)について具体的な例を毎回示し、保育実践について理解を深める。		
テキスト	使用しない		
参考書・参考資料等	「平成29年告示 幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領 原本」(株式会社チャイルド本社)、資料としてプリントを配布し、毎回プリントを利用しながら授業を進める。		
成績評価の方法	○授業態度等平常の評価:20% ○定期試験:80%		
授業計画	授業の内容	到達目標番号	
第1回	乳幼児の教育・保育と領域健康 ①健康観の変遷 ②発育発達とは ③領域健康の「ねらい」と「内容」	(1)-①,(1)-②,(1)-③,(1)-④	
第2回	乳幼児の発育発達 ①乳幼児の発達 ※情報機器あるいは視覚教材の使用	(2)-②,(2)-⑤	
第3回	乳幼児の発育発達 ②乳幼児の発育	(2)-①	
第4回	乳幼児の発育発達 ③乳児の運動発達	(2)-①,(2)-⑤	
第5回	乳幼児の発育発達 ④幼児の運動発達 ⑤乳幼児の発達と環境 ※情報機器あるいは視覚教材の使用	(1)-③,(2)-①,(2)-②,(2)-⑤	
第6回	幼児期の精神発達 ①幼児期の知覚の発達(幼児期の知覚の特徴、知覚発達の諸相) ※情報機器あるいは視覚教材の使用	(1)-②,(2)-①,(2)-②	
第7回	幼児期の精神発達 ②社会性の発達(愛着、大人との関係、子どもとの関係) ③パーソナリティーの形成、自我の発達	(1)-②,(2)-①,(2)-⑤	
第8回	基本的な生活習慣の発達 ①食事の習慣 ②食育 ※情報機器あるいは視覚教材の使用	(1)-②,(2)-①,(2)-②,(2)-⑤	
第9回	基本的な生活習慣の発達 ③排泄の習慣 ④睡眠の習慣	(1)-②,(2)-①,(2)-⑤	
第10回	基本的な生活習慣の発達 ⑤衣服着脱の習慣 ⑥清潔の習慣	(1)-②,(2)-①,(2)-⑤	
第11回	基本的な生活習慣の発達 ⑦乳幼児の基本的な生活習慣形成と環境 ⑧基本的な生活習慣と保育者の関わり ※模擬保育	(1)-②,(2)-①,(2)-③,(2)-④,(2)-⑤	

授業計画	授業の内容	到達目標番号
第12回	安全習慣の発達 ①乳幼児に起こりやすい事故とその防止	(2)-①
第13回	安全習慣の発達 ②防災・防犯 ③交通安全 ④避難訓練 ※模擬保育	(1)-②,(2)-①,(2)-②, (2)-③,(2)-④,(2)-⑤
第14回	園における健康管理 ①園における健康管理 ②日常の視診からわかること	(2)-①
第15回	園における健康管理 まとめ ③主な感染症等疾病 ④アレルギー他 ※領域健康のねらいでの指導案作成	(1)-①,(1)-②,(1)-④, (2)-①,(2)-③,(2)-⑤
定期試験	筆記試験	